

江田島市地域経済動向調査（平成30年8月）

■全国の景況

◇月例経済報告（H30年7月号より）

『景気は、ゆるやかに回復している。』

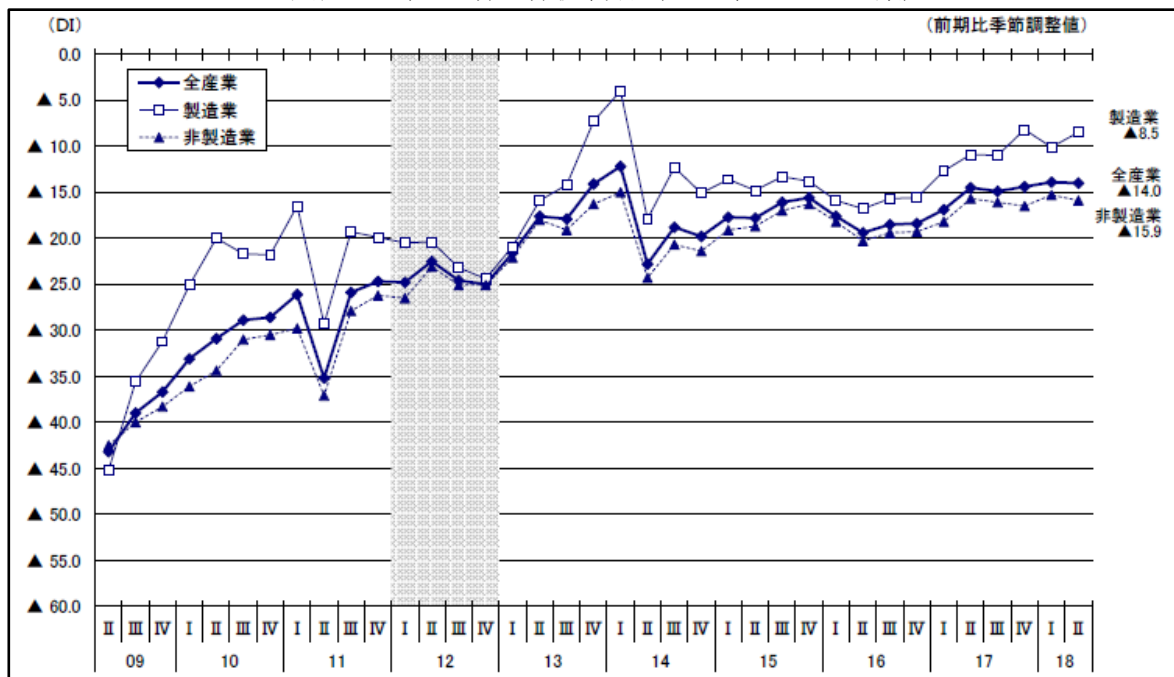
- ・個人消費は、持ち直している
- ・設備投資は、緩やかに増加している
- ・輸出は、持ち直している
- ・生産は、緩やかに増加している
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。また、平成30年7月豪雨の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

◇中小企業景況調査（2018年4～6月より）

『中小企業の業況は、一部業種に一服感が見られるものの、基調としては、緩やかに改善している。』

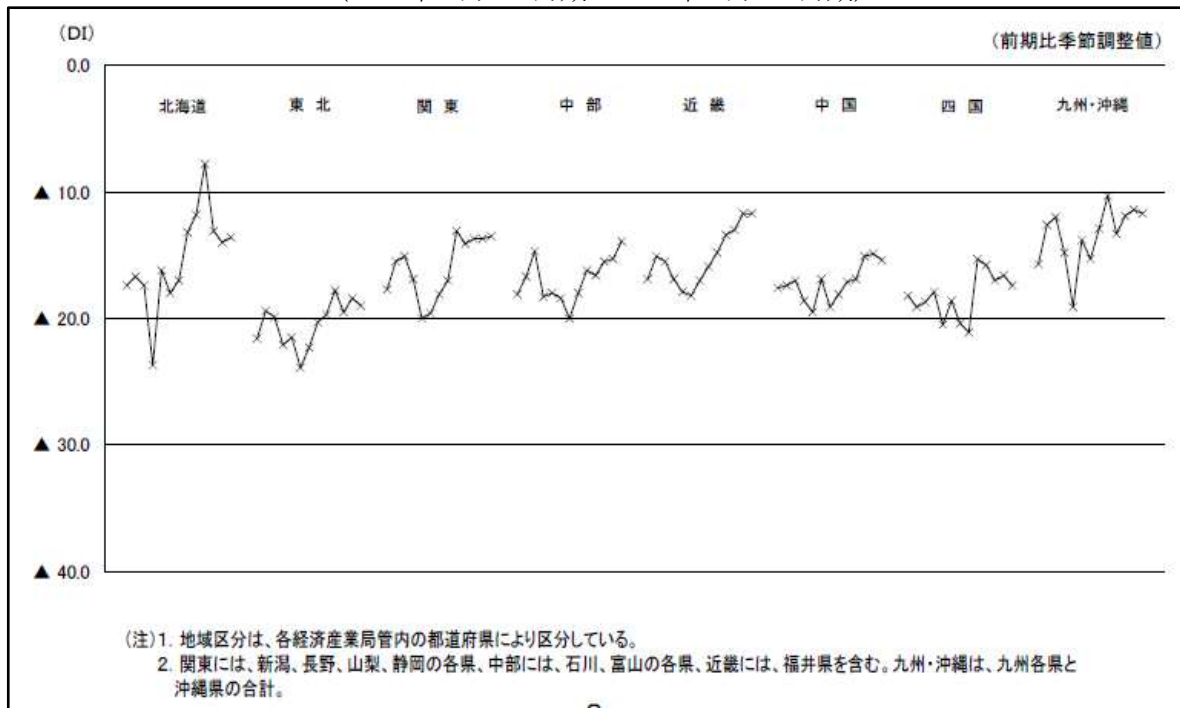
- ・2018年4～6月期の全産業の業況判断DIは、▲14.0（前期差0.1ポイント減）となり、3期ぶりに低下した。
- ・製造業の業況判断DIは、（前期▲10.1→）▲8.5（前期差1.6ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。
- ・非製造業の業況判断DIは、（前期▲15.3→）▲15.9（前期差0.6ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅がやや拡大した。

図表1 中小企業の業況判断（2018年4月～6月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、中部、北海道、関東でマイナス幅が縮小し、近畿で横ばい、四国、東北、中国、九州・沖縄でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2015年4月～6月期～2018年4月～6月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（平成30年8月）

『県内経済は、平成30年7月豪雨前は、回復しつつあったが、現時点では、まずは豪雨による地域への影響全体について十分に把握する必要がある』

- ・個人消費：「回復しつつある」

百貨店販売は衣料品などが、ホームセンター販売は園芸用品や日用消耗品などが低調であり前年を下回っている。ドラッグストア販売は食料品や化粧品などが好調であり、コンビニエンスストア販売やスーパー販売は食料品などが堅調であり前年を上回っている。このように個人消費は、全体では回復しつつある。
- ・生産活動：「回復しつつある」

輸送機械は、自動車が国内外の需要が堅調であることから高操業を維持している。一般機械は、中国向けの樹脂機械などが堅調であり、増加している。電気機械は、自動車向け半導体集積回路などの電子部品・デバイスが堅調である。鉄鋼は、自動車や建材向けの需要が堅調であり、プラスチック製品は、スマートフォン向け部材が回復しつつあることから、増加している。このように、生産活動は、全体では回復しつつある。
- ・雇用情勢：「着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている」

有効求人倍率（平成30年3～5月）は1.94倍と、全国の1.59倍と比べ高水準で推移してるほか、新規求人数も増加しているなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている。
- ・設備投資：「平成30年度は前年度を上回る見通し」
 - 製造業では、鉄鋼などで減少するものの、自動車、生産用機械などで増加することから、全体では前年度を上回る見通しとなっている。
 - 非製造業では、運輸・郵便などで減少するものの、金融・保険・小売などで増加することから、全体では前年度を上回る見通しとなっている。
- ・企業収益：「平成30年度は減益見通し」
 - 製造業では、その他の輸送機械、食料品などで増益となるものの、自動車、その他製造などで減益となることから、全体では減益見通しとなっている。
 - 非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、不動産、運輸・郵便などで増益となるものの、建設、娯楽などで減益となることから、全体では減益見通しとなっている。
- ・企業の景況感：「『下降』超幅は縮小」

企業の景況判断BSI（景況判断指数）は、「下降」超幅が縮小している。なお先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- ・住宅建設：「前年を下回る」

新設住宅着工戸数でみると、貸家などが増加しているものの、分譲住宅、持家が減少していることから、前年を下回っている。
- ・輸 出：「前年を下回る」

県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、船舶、自動車などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中南米、西欧などで減少している。
なお、輸入は、石油製品、木材などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中東欧、ロシア等などで増加している。

表図3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2010年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比
	指数	前月(年)期比				戸数合計	持家	貸家		
2014年	104.5	2.4	1.9	0.8	4.8	△ 16.1	△ 19.2	△ 19.7	※△ 5.4	8.1
15	108.7	4.0	0.9	△ 0.5	△ 9.8	△ 1.0	△ 1.0	15.2	※△ 4.9	△ 1.0
16	110.1	1.3	—	△ 0.5	△ 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9
17	110.5	0.4	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	3.3	0.7
17年 4~6月	109.9	△ 1.5	△ 5.9	△ 1.1	15.4	27.9	1.3	27.0	11.1	1.0
7~9	109.6	△ 0.3	△ 7.0	△ 1.3	3.3	6.6	△ 5.4	3.2	△ 8.8	1.3
10~12	110.4	0.7	△ 3.6	△ 1.3	△ 0.4	24.2	△ 3.2	38.8	12.1	2.4
18年 1~3	108.5	△ 1.7	△ 5.0	△ 1.0	△ 3.5	3.0	△ 5.3	△ 0.3	△ 7.2	△ 2.1
4~6	112.1	3.3	0.5	△ 1.7	△ 0.6	△ 19.5	△ 7.1	△ 10.1	10.1	△ 2.7
17年 7	109.5	△ 0.3	△ 4.9	△ 2.2	4.7	15.7	7.8	△ 9.6	△ 27.5	2.6
8	110.4	0.8	△ 6.3	△ 1.4	0.2	△ 11.0	△ 11.5	12.3	△ 12.8	0.2
9	108.9	△ 1.4	△ 9.7	△ 0.2	4.3	14.4	△ 11.6	12.0	24.0	1.0
10	108.8	△ 0.1	△ 10.3	△ 3.1	1.5	35.0	△ 5.6	33.2	69.6	2.7
11	111.4	2.4	△ 2.0	△ 0.4	△ 4.9	13.7	0.8	27.1	8.5	0.2
12	111.0	△ 0.4	1.9	△ 0.3	2.6	25.4	△ 5.0	56.6	△ 40.8	4.2
18年 1	109.0	△ 1.8	△ 4.2	△ 0.4	1.2	△ 3.3	0.3	△ 32.4	15.1	△ 0.9
2	109.8	0.7	△ 3.5	△ 1.9	△ 3.9	△ 2.8	△ 11.1	△ 8.1	27.7	△ 2.3
3	106.8	△ 2.7	△ 7.2	△ 0.8	△ 5.9	15.2	△ 4.1	46.4	△ 30.2	△ 3.0
4	112.6	5.4	0.4	△ 2.1	5.0	△ 9.1	△ 5.2	△ 2.6	△ 2.1	△ 3.1
5	110.3	△ 2.0	0.6	△ 3.8	△ 2.7	△ 33.5	△ 4.0	△ 15.0	13.9	△ 2.5
6	113.3	2.7	0.5	0.8	△ 3.5	△ 11.1	△ 11.6	△ 13.4	19.6	△ 2.5
7	88.1	△ 22.2		△ 4.1	1.1	△ 18.7	△ 5.7	△ 18.4	4.7	△ 3.3
8	P 100.4	14.0		△ 0.3	17.1	15.2	6.3	14.0	10.9	
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局 中国船舶振興協会	国土交通省			西日本建設業協会	県統計課

(注) Pは速報値。鉱工業指数の前年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、2016年3月までは中国電力公表の大口電力需要を掲載している。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値。公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀 行		手形交換		不渡手形 (内取引停止処分)		企業倒産 (負債1千万円以上)	
			総預金 (億円)	貸出金 (億円)	枚数 (千枚)	金額 (億円)	枚数 (枚)	金額 (万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2014年	※ 1.29	2.5	116,447	80,458	1,310	39,543	74	4,352	195	17,092
15	※ 1.52	1.5	120,678	84,246	1,229	35,466	80	4,654	170	25,805
16	※ 1.68	0.0	122,718	86,678	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005
17	※ 1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960
17年 4~6月	1.77	0.2	126,227	90,689	269	7,620	41	4,195	45	5,102
7~9	1.84	0.6	126,986	91,906	243	6,921	16	315	34	3,316
10~12	1.94	0.4	128,288	93,618	256	7,761	10	347	40	15,541
18年 1~3	1.96	1.3	129,242	94,233	245	6,382	17	448	49	3,643
4~6	2.00	0.5	129,630	95,797	248	7,051	35	3,556	34	5,141
17年 7	1.81	0.5	126,107	91,294	89	2,597	5	97	16	2,269
8	1.85	0.6	126,671	91,232	89	2,317	1	5	12	380
9	1.86	0.8	126,986	91,906	65	2,008	10	212	6	667
10	1.89	0.0	126,633	92,209	105	3,299	2	154	20	5,112
11	1.93	0.4	126,472	92,770	84	2,441	8	194	11	586
12	2.00	0.8	128,288	93,618	67	2,031	—	—	9	9,843
18年 1	1.98	1.5	127,307	93,320	99	2,606	—	—	15	568
2	1.98	1.4	127,620	93,254	81	2,259	12	326	12	515
3	1.92	1.1	129,242	94,233	65	1,516	5	122	22	2,560
4	1.92	0.5	129,938	94,326	80	2,340	19	2,015	16	3,538
5	2.00	0.5	129,298	94,943	105	2,576	12	1,426	10	1,295
6	2.10	0.6	129,630	95,797	63	2,135	4	115	8	308
7	2.14	0.7	128,292	96,119	101	2,819	—	—	18	2,560
8	2.13	1.1	128,466	96,208	81	2,310	1	10	19	12,396
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会				帝国データバンク広島支店	

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値。年度及び四半期の数値は月平均。総預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値は3月末残高。銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（H30年7月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、平成30年4月～6月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・平成30年4月～6月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲14.0であり、全国と比較して、0.7ポイント低くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、D Iは▲33.3であり、全国値・広島県値より低い値となっている。

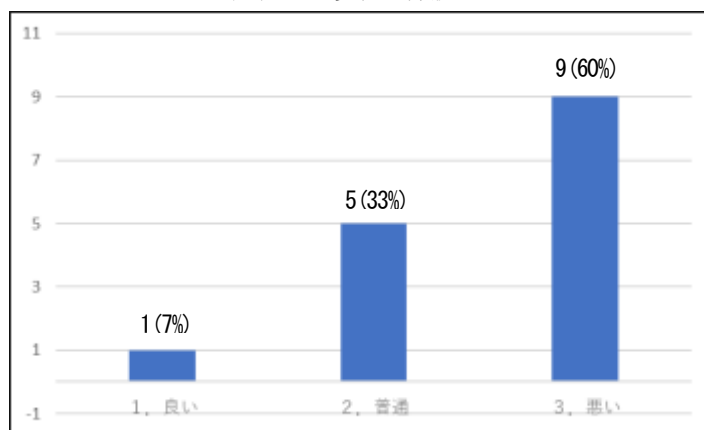
図表4 景況判断状況

(前期比)

	平成29年				平成30年	
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月
全国	▲16.9	▲14.5	▲14.9	▲14.4	▲13.9	▲14.0
広島県	▲19.9	▲16.8	▲20.1	▲17.8	▲14.5	▲14.7
江田島市	—	—	—	—	—	▲33.3

- ・江田島市15社分の現在の景況感は次のとおりである。
なお、平成30年4月～6月に設備投資を実施した事業者はなかった。

図表5 現在の景況感



- ・中小企業景況調査では、全国で約18,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「製造機・老朽化」、小売業では「販売単価の低下・上昇難」、建設業では「大企業の進出による競争の激化」及び「官公需要の停滞」、サービス業では「利用料金の低下・上昇難」及び「需要の停滞」が経営上の問題点の1位になっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	需要の停滞	原材料価格の上昇	従業員の確保難
	江田島市商工会	製造設備の不足・老朽化	製品ニーズへの変化への対応 熟練技術者の確保難	製品（加工）単価の低下・上昇難
建設業	全国	従業員の確保難	官公需要の停滞	熟練技術者の確保難
	江田島市商工会	大企業の進出による競争の激化 官公需要の停滞	民間需要の停滞	その他
小売業	全国	大・中型店の進出による競争の激化	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	江田島市商工会	販売単価の低下・上昇難	購買力の他地域への流出	需要の停滞
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	江田島市商工会	利用料金の低下・上昇難 需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・平成30年6月の江田島市内中小企業の保証承諾件数は9件で、金額は69百万円であり、前年同月比では減少している。
- ・平成30年6月の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は507件、金額は3,924百万円であり、前年同月比では減少している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	平成29年6月					平成30年6月			
	保証承諾		保証債務残高			保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額		件数	金額	件数	金額
江田島市	12	186	576	4,707	江田島市	9	69	507	3,942
広島県	1,599	16,046	68,301	486,333	広島県	1,463	15,060	62,606	436,840

以上